

らくらく 議会だより

桜風と遊ぶ

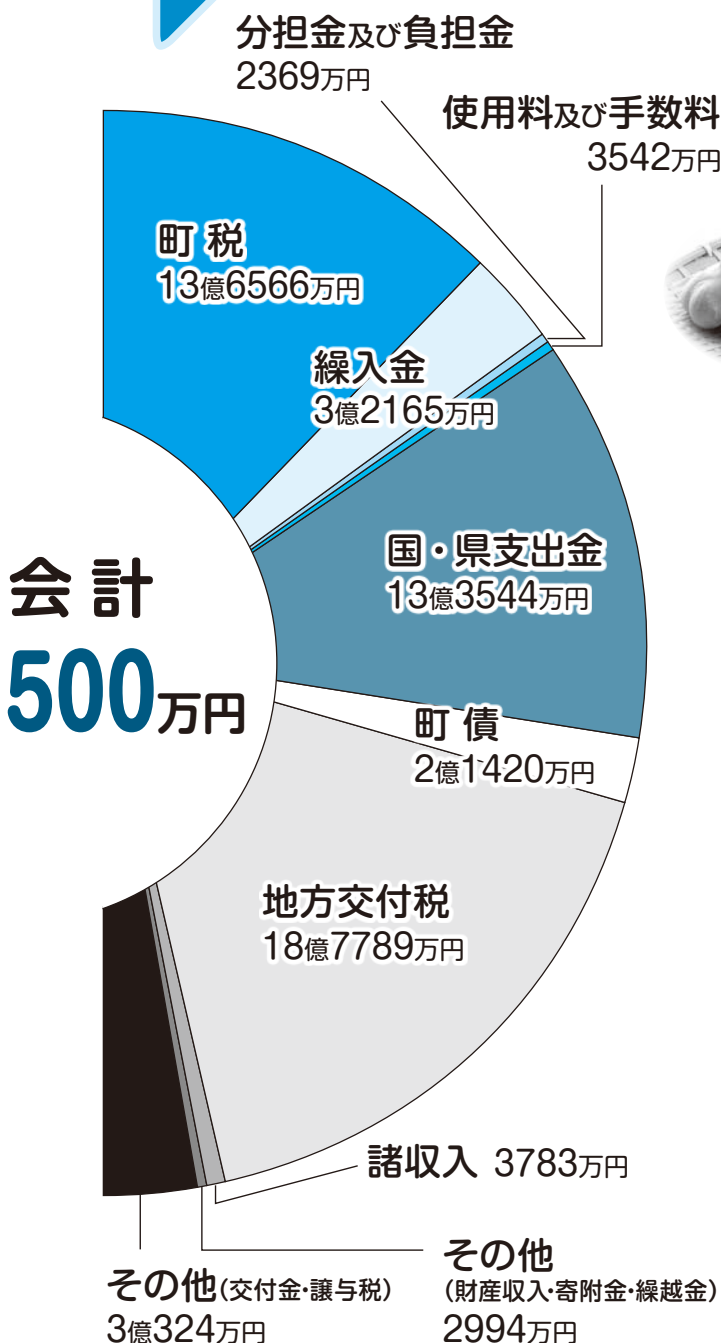
六戸町観光協会が主催した「平成28年度第5回桜フオートコンテスト」で銅賞を受賞した作品を紹介いたします。(撮影者：附田日出行さん)
新型コロナウイルス対策で外出自粛中の皆さんに館野公園の桜風をお届けします。
子ども達が元気に遊べる日が早く来ることを願っています。



【3月定例会～令和2年度予算～】 持続可能な地域社会を目指して……………	2
【予算特別委員会】 町民のくらしを支える予算をチェック！……………	4
【一般質問】 4人の議員が町政を問う……………	8
【常任委員会レポート】 地域の皆さんと意見交換会……………	12

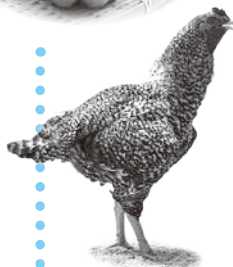
地域社会を目指して

町に入るお金 歳入



分担金及び負担金
2369万円

使用料及び手数料
3542万円



商工費

ろくのへ
ブランド
推進事業

535万円

町の農産物PRや、
若手農業者の支援を行います。

3月定例会が3月6日から12日までの7日間の会期で開催されました。
一般会計をはじめ各特別会計の令和2年度予算や、条例の改正や平成31年度各会計補

正予算、人事案件など21件の議案が提出されました。
令和2年度各会計予算は、予算特別委員会を設置し、集中審査の結果、原案のとおり可決しました。

土木費

官庁街線
街路灯LED
灯交換工事



古くなった街路灯をLED灯へ交換して官庁街線を明るくし、消費電力を抑えます。

消防団屯所改修工事(第3分団)折茂新田
小型動力ポンプ付積載車購入(第2分団)上吉田

消防費



災害に強いまちづくりのために防災体制の確立を目指します。

主要事業を
わかりやすく
お知らせします!



令和2年度一般会計予算額
55億4500万円

持続可能な

農林水産業費
黒毛和種繁殖雌子牛導入支援事業



700万円 ブランド牛の血統を持つ牛を導入し、肉牛の価値を上げます。



総務費
若者の定住支援事業

若者定住促進のために、若者夫婦世帯に対する家賃を補助します。
748万円

衛生費
ハイリスク妊産婦のアクセス支援事業



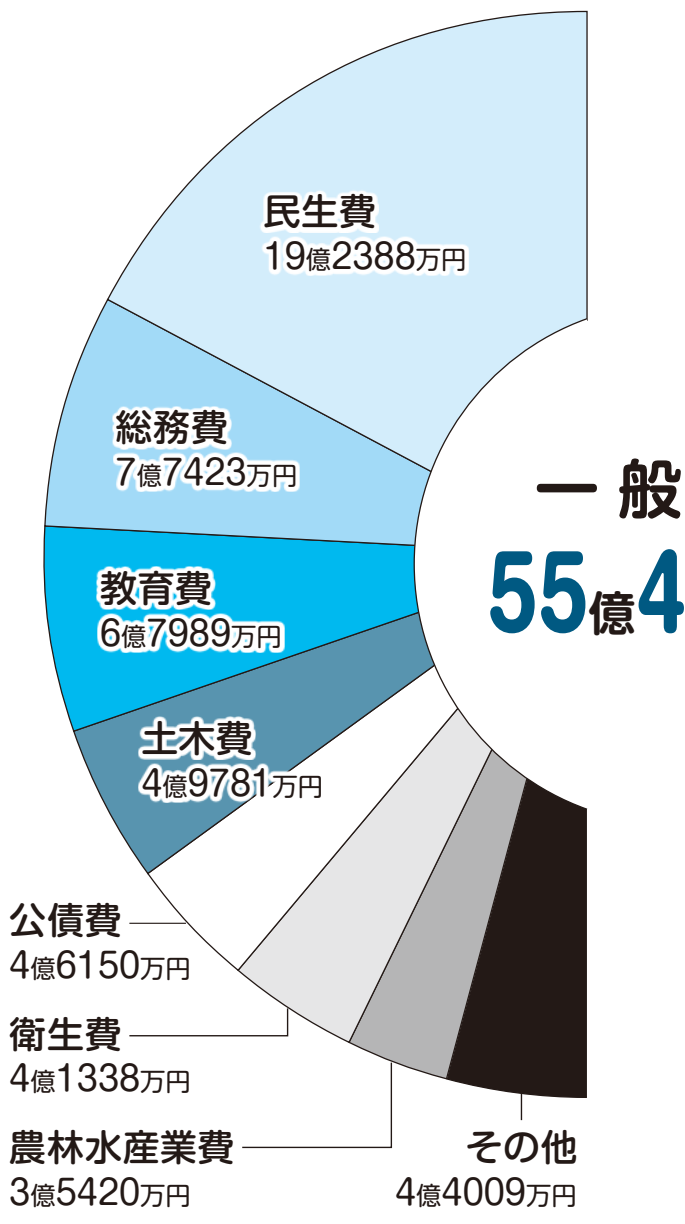
特定不妊治療費助成
40万円
140万円 安心して出産・子育てができるよう支援します。



教育費
総合体育館の大規模改修(第Ⅲ期工事)

体育館の外壁を改修。今年度で改修工事が完了します。

歳出 使いみち



特別会計予算額 (単位:万円)

国民健康保険事業	12億6540
下水道事業	5億7839
農業集落排水事業	1億3586
介護保険事業	15億1509
後期高齢者医療	1億4270
国民健康保険診療所事業	4億8081
合 計	41億1825

チェック!



町民の
くらしを
支える

予算を



令和2年度の一般会計、特別会計の予算を審査する予算特別委員会（久田伸一委員長・委員11人）が、3月10日、11日に開かれました。

審査の結果すべて可決となりました。委員から出された質疑を要約してお知らせします。

一般会計

歳入

町民税増額の理由

問 下田敏美委員

農業所得の減少が見込まれるなか、町民税の増額見込みに誤りはないか

答 吉田税務課長

農業所得の下落幅より給与所得の増加の割合が高いと見込み、全体では増額するとみています。

歳出

公金の収納

問 盛田嘉彦委員

コンビニ納付が平成31年度から開始されているが、納付状況はどのようになっているか

答 吉田会計管理者

平成30年度と比べると会計課窓口や口座振替での納付件数は減っています。

問 吉田税務課長

コンビニ収納の件数割合は収納全体の約27%となっています。

定住自立圏の婚活イベント

問 長根一男委員

上十三・十和田湖広域定住自立圏の婚活イベント活動とは

答 円子企画財政課長

これまでは各市町村で開催してきましたが、令和2年度は関係市町村をまとめて1ヶ所で婚活イベントを実施する計画です。今後は、青森県が組織している「あおサポ」と連携しながら進めていく予定です。

※「あおサポ」とは：あおり出会いサポートセンターのこと。独身男女の出会いの場となるイベント情報を提供し、出会いの場づくりをサポートする事業です。

ふるさと納税

問 杉山茂夫委員

ふるさと基金の40万円の内訳は

答 円子企画財政課長

ふるさと納税100万円のうち、使途指定寄付60万円を見込み、残り40万円をふるさと基金に積立てる予定です。

問 杉山茂夫委員

平成30年度のふるさと納税と住民税の減額の差額は

答 吉田税務課長

町外からの寄付額が約150万円、町民が他の自治体に寄付したことに伴う住民税の減額が210万円です。その差額は約60万円です。

町民バスの運行委託料

問 高坂 茂委員

町民バス運行費が1700万円減額になっている理由は

答 川村総務課長

長期契約の入札結果が大幅減になったため、その契約額に基づいて、予算措置を行いました。

防犯灯の設置場所

問 長根一男委員

高森地区から小松ヶ丘地区に通ずる道路が暗いため、防犯灯を増設しては

答 外山建設下水道課長

増設については、今後検討してみたいと思います。

町の表彰審議会

町 苫米地繁雄委員

町の表彰基準に町民名
誉賞を設けてはどうか

川村総務課長

当町では、功労表彰と
善行表彰のみですが、名
誉町民等については、他
町村を参考にしながら、
令和2年度より、検討し
ていきたいと思えます。

ハイリスク妊産婦 アクセス支援事業

種市正孝委員

ハイリスク妊産婦
セス支援事業とは

館福祉課長

ハイリスク妊娠とは、
母や子のいづれかまたは
両方に重大な病気等が予
想される妊娠をさします。
その妊産婦の方が遠方の
病院へ通う費用や宿泊費
用について補助をする事
業で、何度か通院した場
合でも上限額を5万円と
するという制限がありま
す。

シニアクラブへの 補助金額

高坂 茂委員

官庁街通りの除草作業

等の奉仕活動をしている
六戸シニアクラブに補助
金を増額しては

館福祉課長

情報交換をしたうえで
増額の有無を検討したい
と思えます。

森林環境基金 積立の活用方法

松橋一男委員

森林環境基金積立金の
今後の活用方法は

高橋産業課長

現在は準備段階で積み
立てのみです。今後、町
の森林・山林を所有され
ている方に対し、アンケ
ート調査をおこない、使
い方を検討します。

優良牛の導入支援

長根一男委員

黒毛和種繁殖雌子牛導
入支援事業の補助とは

高橋産業課長

町内の黒毛和種改良組
合に対してのブランド牛
の導入支援事業になりま
す。上限については1頭
当たり70万円、4割を
補助します。導入費用に
ついては導入者と十分に
協議した上で進めたいと
思います。

春まつりの開催中止

苫米地繁雄委員

春まつりの開催を中止
した理由は。また、町で
開催の指導はできないの
か

高橋産業課長

桜の開花時期と春まつ
りの開催時期がかけ離れ
てきていることと、スタ
ッフ不足の問題もあり、
観光協会の総会で中止と
決まりました。

公園の使用については、 建設下水道課の許可があ れば、露店の出店やイベ ントの開催は可能です。

今後、春まつりを再開
催するかどうかは観光協
会と協力して態勢を整え
られるか検討していきたく
と思えます。

館野公園の 土地買収の考え

下田敏美委員

現在、館野公園を年間
400万円で借りている。
借りるのではなく、土地
を買収したほうが町の財
政に有益では

吉田町長

今までの歴史的な部分
や、関わりあいの部分が

ありますので、今しばら
くはこのままでやってい
きたいと考えます。

ブランド推進事業

山本 実委員

ろくのへブランド推進
事業の内容は

高橋産業課長

首都圏、県外への農産
物PRや六戸産品の販売、
また若手農業者支援など
を行っております。

町道舗装工事

山本 実委員

柳沢金矢線舗装工事、
高森館野線舗装補修工
事の施工箇所は

外山建設下水道課長

柳沢金矢線舗装補修工
事は、来年度、約400
坪の施工を予定していま
す。

高森館野線舗装補修工
事は、消防署から柳沢ま
での区間で約300坪の
工事をします。

住宅管理費

山本 実委員

除草業務と町営住宅管
理システム保守業務の内
訳は

外山建設下水道課長

除草業務は旧館野・桜
ヶ丘団地の除草で、草刈
り2回分の経費を計上し
ています。

町営住宅管理システム
保守業務は、住宅使用料
を徴収するシステムの保
守業務の費用となります。

特別会計

国民健康保険事業

生活習慣病の予防検診

国民健康保険事業

杉山茂夫委員

新規事業で生活習慣病
予防検診があるが、検診
を受けられる年齢は

館福祉課長

30歳と35歳が新たに生
活習慣病予防検診を受け
れるようになります。

国保人間ドック 事業の受診者

高坂茂委員

国保人間ドック事業の
助成内容と受診状況は

館福祉課長

国保人間ドックの検診
費用を町が一部助成し、
40歳、45歳、55歳は自己
負担はありません。
40歳から74歳は自己負

担が7千円で受診できま
す。平成31年度に無料で
受診できる対象者は11
3名。対象者には個別に
通知をいたしました。が、
受診者は18名でした。

国民健康保険 診療所事業

診療所の今後

国民健康保険 診療所の今後

山本実委員

六戸町国民健康保険診
療所を、以前の病院に戻
す考えはあるか

吉田町長

国が公的医療機関の再
検証をし、縮小しようと
している流れの中で、町
立病院に戻すという認識
は現在のところありませ
ん。



病院から診療所に移行して3年が経過

3月定例会で決まったこと

補正予算

▽一般会計2468万円を減額

平成31年度一般会計予算では、2468万円を減額補正し、総額59億5226万円となりました。事業を精査したことによる減額が主なものです。

質疑

▽小・中学校内のLAN構築事業

高坂茂議員

学校の無線LAN設置の補助事業は、国が全額補助として捉えていいのか

答 円子企画財政課長

半分が補助事業で半分が起債事業になります。

▽農業次世代人材投資事業

長根一男議員

農業次世代人材投資事業が518万減額となっているがその理由は

答 高橋産業課長

新規で2名を予定していましたが、1名になっ

たためと、所得制限等により満額支給にならなかったことが挙げられます。

契約

▽柳沢橋架替工事内容変更

橋の工事着手後に支障となる問題が新たに確認されたため、その撤去費用が追加されたことによる増額です。

・契約先
株佐藤建設工業

(改正前)

・金額1億1880万円 (改正後)

・金額1億2358万円

人事案件

▽代表監査委員

次の方を代表監査委員とすることに同意しました。任期は、令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間です。

吉田 透さん

(川原新田地区) 再任

発議*

▽日米地位協定の抜本改定を求める意見書提出

六戸町議会では、日米地位協定の抜本改定を求める意見書を可決し、関係大臣へ送付しました。

日米地位協定は、締結以来一度も改正されておらず、平成30年7月に開催の全国知事会で、日米地位協定の見直しを含む米軍基地負担に関する提

言が全会一致で採択されました。全国知事会は提言のなかで、日本の国内



監査業務を行う代表監査委員(左)

法を米軍に適用することや、事件・事故時の立ち入り保障などを明記することを求めており、他国では改定を行った後、低空飛行の減少や時間制限の強化が図られています。三沢基地の近隣市町村でも、騒音被害や事故に対する県民の不安は広がっていることから、国への意見書を提出します。

*発議とは…
議会において議事の対象となるべき問題を提出することをいいます。

議会のつぎ

(令和元年12月～令和2年2月)

12月

- 3日 議会運営委員会
- 6日 第5回町議会定例会 (10日)
- 10日 議会広報委員会
- 13日 *町スポーツ協会理事会及び各種大会報告会
- 16日 産業民生常任委員会
- 25日 総務常任委員会
- 議場大掃除

令和2年1月

- 5日 町消防出初式
- 6日 町功労者表彰式並びに町民新年祝賀会
- 9日 産業民生常任委員会
- 24日 *郡町村議会議長会第4回定例会(東北町)
- 29日 *第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー

2月

- 2日 *第44回新春芸能チャリティー発表会
- 4日 産業民生常任委員会
- 6日 *町教育を語る会
- 8日 総務常任委員会による町民との意見交換会
- 15日 町文化・スポーツ賞表彰式
- 18日 *自衛隊入隊予定者激励会(三沢市)
- 26日 *県町村議会議長会「第70回定期総会」(青森市)
- 27日 総務常任委員会

*印は議長のみ出席

注意処分報告

山本 実 議員

令和2年4月14日の東奥日報朝刊と翌15日のデーリー東北で報じられた「六戸町議が虚偽投稿」の記事について、議長、副議長、議会運営委員長、総務常任委員長、産業民生常任委員長で協議した結果、4月20日、議長より山本実議員に対し、文書で注意がなされた。

内容

ウェブサイトにある匿名掲示板サイトに投稿した行為そのものが、町議会基本条例第16条の「倫理性を常に自覚し行動しなければならない」に反しており、町議会、町、町民に多大な迷惑をかけたものであり、大変遺憾である。よって、ここに文書での厳重注意をするものである。

今後、二度とこのようなことがないよう十分に注意されることを強く求める。



次のページは

一般質問

3月定例会の4日目に一般質問が行われ、盛田嘉彦議員、松橋一男議員、高坂茂議員、種市正孝議員の4人が登壇しました。

一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、質問をいたしました。

質問者と内容



もりた よしひこ
盛田 嘉彦 議員

8ページ

- ①新型コロナウイルス感染症の対応策は
- ②六戸高校の跡地利用について
- ③六戸高校の事業を支援する考えは



まつはし かずお
松橋 一男 議員

9ページ

- ①がん検診について
- ②町職員の採用に障がい者の雇用状況を問う



こうさか しげる
高坂 茂 議員

10ページ

- ①災害時の生活弱者の避難対策を問う
- ②小・中学生のスマートフォン・タブレットの所有実態と指導体制を問う
- ③小・中学校の学区を見直しては
- ④大曲小学校のグラウンドの改修と拡張について



たねいち まさたか
種市 正孝 議員

11ページ

- ①定住促進支援事業の次年度以降の計画は
- ②子育て支援に出生祝い金制度の検討を
- ③診療所における外来患者の減少の要因と今後の運営方針を問う

ほかにはこれも **審議** しました

議案番号	議案名	採決の賛否	審査結果	採決日
議案①	青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議	全 員 賛 成	可 決	3月12日
議案②	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更			
議案③	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案			
議案④	六戸町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正			
議案⑤	六戸町子ども医療費助成条例の一部改正			
議案⑥	メイプルふれあいセンター設置条例の一部改正			
議案⑦	平成31年度六戸町一般会計補正予算(第4号)(2468万円減額補正)			
議案⑧	平成31年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)(15万円減額補正)			
議案⑨	平成31年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第4号)(58万円減額補正)			
議案⑩	平成31年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)(125万円減額補正)			
議案⑪	平成31年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)(3143万円減額補正)			
議案⑫	平成31年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(86万円減額補正)			
議案⑬	平成31年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)(653万円減額補正)			
議案⑭	令和2年度六戸町一般会計予算(55億4500万円、前年度より3億9100万円減)			3月6日
議案⑮	令和2年度六戸町国民健康保険事業特別会計予算(12億6540万円、前年度より4143万円増)			
議案⑯	令和2年度六戸町下水道事業特別会計予算(5億7839万円、前年度より2億7353万円増)			
議案⑰	令和2年度六戸町農業集落排水事業特別会計予算(1億3586万円、前年度より346万円増)			
議案⑱	令和2年度六戸町介護保険事業特別会計予算(15億1509万円、前年度より1527万円増)			
議案⑲	令和2年度六戸町後期高齢者医療特別会計予算(1億4270万円、前年度より1818万円増)			
議案⑳	令和2年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計予算(4億8081万円、前年度より2888万円増)			
議案㉑	工事の請負契約の変更(478万円増額)			
同意①	六戸町監査委員の選任につき同意を求めること(吉田 透氏＝川原新田、再任)	全員 起立	同意	
陳情①	日米地位協定の抜本改定を求める陳情書	全員 賛成	採択	
発議①	日米地位協定の抜本改定を求める意見書提出	賛成	可決	3月12日



もり た よし ひこ
盛田 嘉彦 議員

新型コロナウイルス感染症の 対応策は

自粛しながら暮らすことが大切 — 町長

問 コロナウイルス感染症に対して当町ではどのような対応策を講じているのか

町長 庁内において連絡会議を開催し、情報共有や感染予防対策に努めています。対応策として、町管理施設への消毒用アルコールの設置、ホームページによる町民への情報提供と注意喚起を促しました。イベント、会議等の縮小・中学校の臨時休校などを行っています。基本的には自らの防護策として自粛しながら暮らすことが一番大切と思っております。

六戸高校の跡地利用は

小中一貫校を検討へ — 町長

問 残り3年間で閉校が決まっている六戸高校。その跡地利用を町ではどのように考えているのか

町長 六戸高校は県の財産であり、跡地利用については県が検討を行い、県で利用しない場合、市町村に対し利用が可能か照会すると伺っております。

問 六戸小・中学校の校舎の老朽化が進んでいる。教育施設に関して抜本的な見直しが必要ではないか

町長 町としては将来に向けた教育施設の在り方を模索、検討すべきだと考えています。令和2年に検討委員会を立ち上げ小中一貫校のよきな在り方を検討していきたい。



令和5年3月に閉校する六戸高校

さつき沼ビオトープ事業への協力は

積極的に支援していきたい — 町長

問 六戸高校では昨年「さつき沼ビオトーププロジェクト」に取り組んでいる。この事業は、自然教育だけではなく、地域振興、観光振興としても価値があると思うが、支援する考えは

町長 さまざまな観点から見て大切な事業と捉え、町としても積極的に支援していきたいと思っております。

※「さつき沼ビオトープ」とは…
 館野公園全体の生態系を正しながら、より魅力ある公園へと再生させるものです。具体的には町民の方々にも協力してもらい、さつき沼の水抜きをして外来魚を駆除、螢・水鳥・昆虫など生き物が生息しやすい環境をつくることを目的としています。



まつ はし かず お 議員
松橋 一男

国の指針外の検診を行う理由は

検査するに越したことはない — 町長

問 がん検診の対象部位等の検診内容は

福祉課長

40歳以上の方には、胃部のエックス線検査による胃がん検診。胸部のエックス線検査による肺がん検診。便潜血検査での大腸がん検診を行っています。

福祉課長

国の指針には入っておりませんが、推奨されておられません。

問

全ての検査をやれば肉体的負担も費用も発生する。前例を踏襲して検査を行っているのであれば毎年見直すのが望ましいのではないかと。そういったことを踏まえ、推奨されていない検査を行う理由は

福祉課長

平成15年頃からがん検診を始めています。

問 前立腺がんは国の指針に入っているか

50歳以上の男性には、腫瘍マーカーでの前立腺がん検診も行っています。

当時、死亡率、罹患率がグラフを見ると上がってきている状況を見て、やったほうがいいのではないかと判断で始めています。

ただ、推奨されていない検診ですのでメリット、

町長

検診においても、前立腺のマーカーを気にされている方が多い。本人の希望で検査する、一つの目安としてやっていると思います。検査するに越したことはないのではないかと私は捉えています。



就業改善センター前に停まる検診バス

障がい者を雇用する予定は

募集するも採用に至らず — 町長

問 障がい者の実質雇用率が昨年続きゼロだったのは、当町を含む3町村とあつたが雇用状況は

町長

平成30年度は1名、令和元年度はその結果は、残念ながら採用までには至りませんでした。また、本年4月からの会計年度任用職員の募集につきましても、障がい者枠を設けましたが、応募はありませんでした。

問

ほかの市町村では、障がい者を雇用している。町の採用基準が高いのではないかと

町長

私どもとしては、障がい者を云々ということは一切ありません。ただ、業務を行うにおいて、一定的な部分のものをやれる方がベストではないのかというふうな考えです。



議員 茂 高坂 しげる こうさか

災害時の生活弱者への対策は

具体的な避難方法を順次整備 — 町長

問 災害時における高齢者及び障害者（生活弱者）の避難対策は

町長 生活弱者等、自力で避難が難しいと思われる方を、避難行動要支援者とし、名簿の整理を行っています。今後、避難行動要支援者と相談を行い具体的な方法について、整備したいと思います。

総務課長 一般の方は総合体育館、

高齢者の方はエレベーターのある文化ホール、妊産婦の方は就業改善センターなど考えシミュレーションしています。

福祉課長 障がい者等は福祉避難所

として、町内の施設と協定を結び、避難先をお願いしています。

問 日常介護における緊急時の避難先を確保できないか

町長 現時点の介護施設状況では、受け入れは難しいと考えます。他市町村で実施されている緊急的なショートステイの事例を参考とし、検討してまいります。

問 当町の中学校3年生と小学校6年生における全国学力テストの結果は

教育長 小学校では国語、算数とも全国・県平均正答率を下回っており、中学校では国語は全国・県平均正答率を上回っているものの、数学、英語は下回っています。

問 小・中学生のスマートフォン、タブレットの所有実態と教育現場での指導体制は

教育長 スマートフォンの所有率は小学生全体で17・3%、中学生全体で53・1%、タブレットの所有率は小学生全体で17・6%、中学生全体で26・5%となっています。指導体制は学

当町の学力テストの結果は

全国平均を下回る教科も — 教育長

校への持ち込みは禁止としており、N O ネットワークを設けています。

また、SNS に関するトラブルも増えており、家庭と連携しながら適切な利用について指導していきたいと思っています。

問 学区の見直しについて将来の考えは

教育長 子供の出生数数の推移を見ますと、六戸小、六戸中は、令和7年度まではやや減少傾向となり、開知小は横ばいで推移し、大曲小は令和5年度まで増加し、ピークを迎えその後は緩やかに減少するものと見込まれます。七戸中は令和7年度まで緩やかに増加傾向にあります。

従って現時点での学区の見直しは考えていません。

問 大曲小学校のグラウンドの改修と拡幅の考えは

教育長 現段階で具体的な計画はありませんが、児童数の増加や現在のグラウンド状況を考えますと、改修整備をしなければならぬと考えています。

町長 グラウンドの拡幅については、本来西側の沢伝いを埋めようかという話もありました。しかし、あの場所は鉱さい等を撤去した後に埋める工事が必要で、非常に難しいため、現在プランを持ち合わせていません。しかし、これは六戸の大きな教育の課題と捉えています。



小学校の授業風景





たねいち まさ たか
種市 正孝 議員

新たな定住促進に出産祝い金を

現時点で実施予定はない — 町長

問 令和元年度で終了する、若者定住支援事業や定住促進新築住宅建設補助の今後の計画は

町長 来年度も引き続き2年間継続します。補助の条件や補助金額もこれまでと同じ内容で実施します。

問 定住促進事業のひとつである子育て支援に、出産祝い金制度を検討しては

町長 現在実施している施策で人口増加傾向を維持し、比較的若者世代の転入も多い状態にあります。出産祝い金については、現時点では実施する予定はありません。

今後の診療所運営方針は

早期発見・早期治療を担える医療を目指す — 町長

問 診療所に移行した後、年々外来患者数が減少している。要因は

町長 町中心地域の人口減少、高齢化による施設入所や入院が要因と捉えています。

また、当診療所には入院病床がないため、他の市町村病院への患者の流出等と考えています。

問 会社員の方々も考慮し、現在週一で行なわれている、夕暮れ診療の回数増や、土曜日の半日診療はできないか

診療所事務長 職員と医師の勤務時間や、職員体制を加味しながら検討してみます。

問 現在、訪問看護は診療所のかかりつけの方のみ利用できるが、今後は他の医療機関を受診している方でも利用できるようにしては

診療所事務長 現状では診療所の訪

問看護ステーションなので、診療所かかりつけの方のみに対応しています。今後、そういう方向性に向かって、より地域の方のニーズに応えていきたいと考えています。

問 入院業務を休止している中、外来患者数減少の中での、今後の診療所運営方針は

町長 外来患者が頭打ちになる中、町の医療を支えていくために、人的・設備的な充実により、患者の立場に立った親切・丁寧な対応や高齢患者への配慮、待ち時

間の短縮等、サービスの向上を図っていききたいと考えています。また、整備した各種検査機器等の活用により、病気の早期発見・早期治療を担える医療を目指すとともに、自宅での療養の支援を行うことなどにより、中心的地域医療を担いたいと考えています。今後の診療所の総合的な運営方針については、外部有識者の意見を取り入れる検討委員会等をもって意見の集約を行いながら、問題点の改善など進めたいと考えています。



3月に更新されたエックス線撮影装置。購入費1870万円

「産業振興を考える」をテーマに

産業民生常任委員会



2月15日、町内の農業者、商業者、観光協会の方々17名と委員6名で意見交換会を開催しました。六戸町の産業振興について「危惧しているところ」、「農業と商業の連携」、「将来の見通し」の3つのテーマごとに話し合いました。

危惧しているところ

- ❗ 六戸町のブランド化の推進強化
- ❗ 加工・販売などの販路拡大
- ❗ 道の駅が情報発信場所として機能していない
- ❗ 後継者不足
- ❗ 農家の働き手不足
- ❗ 就職先が少ない



農業と商業の連携

- ❗ 青果業と農協が連携し農産物をPRすべき
- ❗ 特徴のある野菜の開発を手助けしてほしい
- ❗ 金矢工業団地への加工施設の誘致
- ❗ 宣伝になるような加工品、主力産業を商品化
- ❗ 農業者と商業者の交流会
- ❗ 旧苔米地家住宅の活用

将来の見通し

- ❗ 農家の人たちが独自の販売網を作る
- ❗ 関東中心に販売を探す
- ❗ スマート農業の導入
- ❗ 道の駅の大型化
- ❗ 空き土地・家の有効利用(ベンチャー企業誘致)
- ❗ 六戸町をベッドタウン化、子育て世代への支援強化

この他にもたくさんの意見が出されました。委員会ではさらに検討を重ね、みなさんの意見が町政に反映されるように活動してまいります。今後さまざまな団体、町民の方々と意見交換を行ってまいります。その際にはご協力のほどお願いいたします。



議会においでください!
次回は6月5日に定例会を予定しています。

※状況によっては傍聴をご遠慮していただく場合もございます。

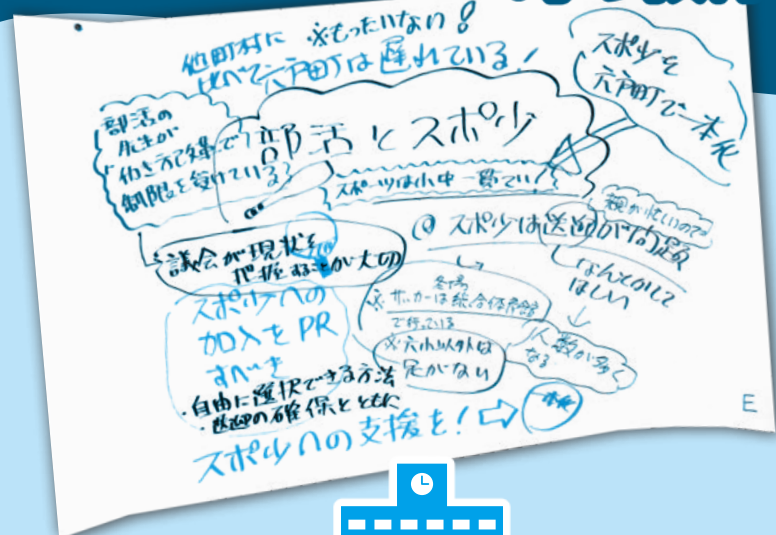
☎ 議会事務局 ☎55-4547

議会のウェブサイトでも確認できます。詳しい日程や内容はこちらから!



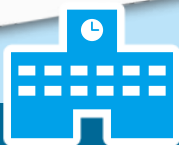
「町の教育力を高める」をテーマに

総務常任委員会



2月8日、町内小中学校のPTA役員、スポーツ少年団指導者、一般公募者と委員会所属の議員6名が、「町民との意見交換会」を開催しました。

テーマのキーワードは「学区編成」、「部活動」、「コミュニティスクール」の3つで、町の学区別人口の推移を参考にして、意見や問題点を模造紙に書き出していきました。その一部を抜粋して紹介いたします。



学区編成

- たての台・通目木地区は開知小へ移動し、大曲・小松ケ丘地区を大曲小に。
- 小中学校の学区を無くし、原則自由選択にすべし。(現在、特例あり)
- 大曲小は教室が狭いので大きい教室が欲しい。小松ケ丘地区に小学校を。
- 六小から六中は、9年間一緒なので小中一貫校?変化がなくリセットできない。
- 今後10年間は、学区編成の必要はない。
- 開知小の生徒は少なく、部活が出来ないが教育面では良い。もっとPRしたら。
- スクールバス運行を整備し、小学校や中学校の統合を考える。
- 六中校舎の老朽化。六高を活用してみては。

部活とスポーツ少年団

- 親の送迎などの負担が大きい。練習・試合・大会等に町のバスを使えないか。
- 中体連ルール。六中と七百中の統合で一つのチーム。部活数・部員数のUP。
- 町スポーツ少年団の統合した組織作り。指導者育成(スポーツ協会の活用)
- 各部活・スポーツ少年団の競技は、町内一団体に一本化。



コミュニティスクール

- 地域の良さを大人から子ども達に伝える場、見守り運動(校門でハイタッチ)
- 地域のお年寄りが大黒舞を子ども達へ指導。老人ホームの人と一緒に野菜作り。
- 子ども会運営、スポーツ、環境整備、運動会手伝い、地域と学校との繋がり。
- 学校の授業で取り入れる可能性(文化・芸能・道具・凧・祭の神輿づくり)



来年の桜が咲く頃には、皆で大い杯を上げたいものだと思つて今日この頃である。

(杉山 茂夫)

近年は、キャンプ用品の充実とキャンプ・ブームの再来なのか、1人や2、3人単位でテントが張ってあり、止めである車は青森・岩手・八戸ナンバーで、それぞれBBQや白鳥ウオッチングなど、のんびりと過ごしているのだ。

熊野公園の春祭りの行事も、温暖化の影響で桜開花期間が早くなり、中止となった。しかも新型コロナウィルスの出現で、各地で観桜会等のイベント中止が発表され、町おこし等「みんなで集まり、みんなで一緒に楽しむ」行事は、今後、ウィルスの終息を見ない限り出来なくなるだろう。

広報委員の
ちょっと
ひと休み ☕

**熊野公園の
新しい楽しみ方**

熊野神社のラジオ体操も早5年。毎朝の6・7人のメンバーの最近の話題は、熊野公園のキャンプ場でキャンプするテントの数である。体操前の公園周辺のウォーキングで確認するのだが、最近では冬でもキャンプする様になり、テントの屋根に煙突が立っている。平日で1〜2張、休日は10張以上もあつたりする。

町民の声

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、^{ビック}Vicウーマンの川村りさ子さんと山本ヒデさんです。

川村りさ子さん 山本ヒデさん



■プロフィール（やまもと ひで・かわむら りさこ）

山本さんは通目木地区在住。旧十和田湖町出身。夫との2人暮らし。農協女性部に9年所属。川村さんは川原新田在住。旧上北町出身。祖父母、夫、娘夫婦、孫の3世代8人暮らし。お二人とも六戸へ嫁に来て30年。毎日忙しく生活している。

女性のちから

男女共同参画の一つとしてこの事業が始まったと聞いています。知事が言うには、やはりお母さんの力は偉大。

だから、自立というわけではないけれども、とにかく農家のお母さんたちの力をひっそりさせないで、もっと広めて行けるように、全面的に県がバックアップして女性の力を発揮できる場を作ろうというのが、Vicウーマンの主旨だと思います。

なり手がいなくて

Vicウーマンの対象者は、当初農業者だけと聞いていました。ですが、農家だけでなく、成り手がなくて人を選ぶのが大変なので、最近は農業者のほかにも、加工品を作っている人、個人で頑張って開拓してお店に置いてもらうとか販売している女性が多いです。以前は60歳で定年でしたが、だんだんと成り手

が少なくて最近の定年は65歳に。まだやりたい、頑張りたいという人は70歳までやれます。

六戸町の現在の会員数は6名。若い人に知ってもらい会員が増えてもらえればよいですね。

今年は六戸で交流

去年は横浜町で、地域の交流会に行ってきました。今年は7月に六戸に来て交流会をやりましょうという案はありますが、まだ未定ですね。

ほかには、講習会の案内がきます。県民局主催のものや、Vicウーマンの会員個人が主催した、地元ならではの食材を使っている簡単なお菓子作り等。行けるときは行こうと決めて参加しています。周辺地域の人たちがこんなことをやっているのを知ると、自分たちにも刺激になります。

今よりも#ご田舎をい

Vicウーマンは女性を農業で進出させて、生きがいをあげようという

ものだと思います。

私たちも今年は何んの野菜を作ろうかと考えて、自分が作りたかった野菜ができたときはとても嬉しいですね。

年齢的に体力が続かないと思うときもありますが、これからもやりたいことがやれるように普段から運動したり、頭を鍛えたりとかしていきたいと思っています。そして、チャレンジや夢を忘れないようにしたいです。

（聞き手 種市正孝 盛田嘉彦）

Vic・ウーマンとは

Village Conductor Of Womanの略称で地域のよりよい『農林水産業とくらし』を指揮する女性リーダーを意味します。認定されると、県が開催する『経営・社会参画セミナー』などへの参加により、スキルアップができるほか、他の農村漁村で活躍する女性たちとの交流ができ、人脈が広がります。



編集後記

新型コロナウイルスが瞬く間に世界に蔓延してパンデミックとなりました。政府は自粛要請を行い、六戸町でも各種行事の自粛や小中学校も臨時休校となりました。幸いにも六戸町では今のところ感染者が出ておらず安心していきます。そのような中で令和2年第1回定例会を滞りなく終える事が出来ました。予算規模は昨年よりは縮小していますが、コロナ関連での補正もあり得るかと思えます。東京オリンピックも延期となります。新型コロナウイルスの早期収束を願うばかりです。

広報委員会が新体制となって1年を迎えます。今後とも皆様に議会の出来事を的確に伝えるをモットーに議会だよりを編集していきたいと思えます。

議会広報委員会

委員長 種市正孝
副委員長 川盛嘉彦
委員 杉村重光
長根茂夫
松橋一男

発行責任者 川村重光